

～「やさい作家」美味しいもの作るために毎日挑戦中～ 松尾 佳治・佳苗さん(大洲市)

(佳治さん) 1983年生まれ
大洲市青年農業者協議会 平成28年度会長
(佳苗さん) 1985年生まれ
一次産業女子グループ ぷらいまりい所属



☆経営概況☆

施設栽培のイチゴ8a、ミニトマト12aをメインに栽培しています。露地栽培ではトウモロコシ60aやセット玉ねぎ50aなどを栽培しています。

☆ここがポイント☆

佳治さんは県外の企業に就職していましたが、結婚を機に大洲に戻ってきて就農しました。父から農業の知識を教えてもらいつつ、青年農業者やベテラン農家から情報を得て日々活動しています。佳治さんが栽培担当、佳苗さんが経営担当として農業経営に取り組んでいます。より良い栽培方法を目指したチャレンジ農業を楽しんでいます。

野菜は鮮度が命のため、今朝どりにこだわり、イチゴやミニトマトは完熟するまでじっくりと待って収穫しています。完熟で収穫するため保存できる期間が短くなるというデメリットがありますが、一番美味しい時に収穫することを大切にしています。最大8種類のミニトマトを栽培しています。

佳苗さんは大洲喜多地区一次産業女子グループ「ぷらいまりい」の一員として活動しておりマルシェ等にも出店しています。ミニトマトや玉ねぎはぷらいまりいメンバーの加工品の原材料として出荷し「食べるオリーブオイル」へと生まれ変わっています。メンバーの力も借りながら野菜の魅力、農業の楽しさを発信していきたいと奮闘しています。



いろいろな種類のミニトマトの宣伝

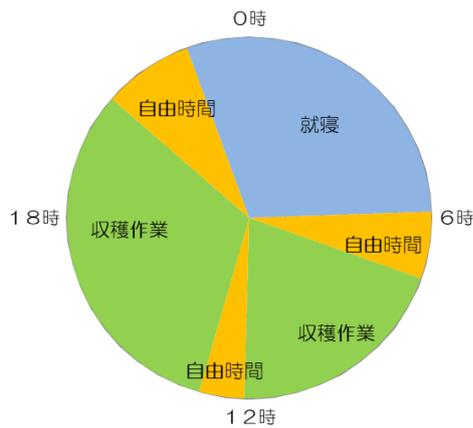


マルシェへ出店



加工品の原料として提供

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

休みの日は子どもと遊んでいます。初夏にはとうもろこしの収穫、秋にはどろんこになりながら芋掘りを楽しんでいます。

子どもと一緒に「伊予灘ものがたり」のお見送りに行くのも大切な日課となっています！

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 栽培管理・収穫・出荷 →					
【普通期】	← 栽培管理 →					→ 休日 →



ミニトマトの管理作業



青年農業者の広報活動

☆これからの夢や目指すもの☆

子どもがやってみたいと思う職業にすることです。「農家＝野菜を作る人」と思われがちですが、事業主として考えれば、「起業家」と捉えることができます。自分たちがしたいと思ったことを形にして、次の世代に残る農業を作っていきたいです。

☆メッセージ☆

就農するまでは「大変そう...」「自分には無理...」と感じていました。しかし、自分で考えてアクションすると、さまざまなリアクションがあり、結果は必ずしも良いとは限らないですが、新しい発見の毎日が楽しいです。お客様から「美味しかった」「孫が好きなんよ」と声をかけていただけることがとても嬉しいです。これからもおいしいものづくりに挑戦していきます！